

令和4年度 施設自己評価結果報告書

学校法人蒲原学園
清水やぐらこども園

1. 本園の教育目標

目指す子どもの姿

- ・健康で明るい子
- ・心豊かな子
- ・自分の考えを持ち主体的に活動できる子
- ・体を鍛え、粘り強い子
- ・適応力を身に付けて協調性に富んだ子

2. 本年度重点的に取り組む目標・計画・結果

目標：心身ともに健やかな育成のため、豊富な経験を通して何事にも取り組む意欲を身に付ける

計画：感染症対策を徹底しながら、できる限りの行事を行い、子どもの育ちにつなげる。

結果：やはり感染対策が重視され、子どもたちの行動に一部制限をしたが、概ね目標達成といえる。

3. 令和4年度の報告

令和3年度はコロナウイルスの影響が大きく、園の行事や子どもの行動、職員の余暇の過ごし方も制約を受けることとなった。

しかし、今年度からは「子どものために」を掲げ、行事をすべて実行し、楽しい園生活を子どもたちに提供できたと感じている。感染防止のキモが理解でき、子どもたちも抗体獲得者が増えたこともあり、行事を通して感染が拡大するという事は無かった。

運動会に関しては、今年度から「エスパルスドリームフィールド」を使用して平日開催し、感染対策と雨天でも運動会が開催できるという試みを行った。来年度も継続していきたい。

9月終わりには大規模な水害が発生したが、幸い園には被害が無かった。3日間の休園となったが、保護者や職員の相互協力もあり、無事に乗り切れたと感じている。防災意識も高まり、来年度からは南海トラフ地震への備えにも活かしていきたい。

4. 評価項目の達成及び取組状況

評価項目	結果	取組み内容及び評価理由
感染症対策の徹底	A	これまでの経験から、子どもたちにも感染予防策が浸透した。抗体獲得者が増えたこともあり、感染拡大は抑える事ができた。
職員の資質向上の促進	B	今年度から集合型の研修にも参加できた。研修内容を園内で共有するための園内研修も行う事ができた。
保育環境の向上	B	備品の充実により、保育環境は継続的に良くなっている。今後も細部に渡り、安全で楽しい環境を構築する。

※評価基準 A：充分達成 B：達成 C：成果が不十分 D：取組が不十分

5. 今後取り組むべき課題

ウイズコロナとはどんな環境になるのか、まだ詳しくは理解できていないが、子どもたちがもっと伸び伸びと生活できる環境になる事は間違いない。

また、職員も今まで控えていた旅行などにも出かけられるようになるので、ワークライフバランスの向上にも注力し、子どもも保育者も充実した園生活が送れるようにしていきたい。

6. 来年度に向けて

もうすぐコロナウイルスが第5類に移行し、5日間クラス閉鎖のルールが撤廃される。今年度は感染による重症化や園内での拡大も見られない事もあり、令和5年はコロナ前の行事スケジュールに戻す事ができると予想する。

本格的なウイズコロナの時代に合わせ、職員配置や保育環境を充実させ、子どもたちが伸び伸びと成長できる環境を作り上げていきたい。

7. 学校関係者からの評価

特に指摘すべき事項はなく、妥当であると認められました。

8. 財務状況・会計監査について

公認会計士による会計監査により、会計が適性に処理されていると認められました。

9. 静岡市による私立こども園監査について

文書による指摘事項はありませんでした。